

令和7年度実施 2次対策講座のご案内

令和7年6月16日

沖縄教職研究会

2年連続、小学校全員が合格

－実務経験豊富な講師陣で万全な態勢－

「採用者数を増やし、正規率90%を目指す」「志願者が過去最低を更新」などのニュースが流れます。

一方、試験区分によっては「率や志願者数では表現できない」ほど厳しいところがほとんどです。さらに、立ち位置を全体ではなく個に置きかえてみると、「自分は……」と、誰しもが抱く不安です。これをなんとかしてでも乗り越え、目標を実現する必要があります。そのために頑張ってきました。

第2次試験において論文試験がなくなった分、模擬授業、個人面接の比重が従前よりも格段に増すことは自明の理です。沖縄教職研究会ではこのことを踏まえ、4年前の2次対策講座から「実務経験豊富な講師陣」が指導に加わり、大教室、小・中教室複数の教室をフル活用し、今という「協働的な学び合い」「個別最適な学び」を展開してきました。

ここ2年（令和5・6年度試験）連続して、2次対策講座受講生のうち小学校全員に加え高校「1人枠」「2～3人枠」など合格者数が極めて少ない試験区分も含め7～8割の方々が合格、正規の教員として教壇に立っています。しかし、合格者数がわずかな試験区分であったとしてもご期待に沿えられなかった現実もあり、私どもでよければ、一定の条件下で昨年に引き続き受講料0円（無料）の対応をとらせていただくこととし、この制度は来年度（令和8年度）にも適用することにしております。

改めて気を引き締め、受講生の目標の実現にお手伝いさせていただきたく、万全な態勢を整えました。

1 日程及び会場

(1) 日程（令和7年7月～8月の中の6日間／1日5時間／10:00～16:00）

月・日・曜日			501教室 (大)	502教室 (中)	503教室 (中)	504教室 (小)	備考
令和7年7月	18	金					第1次試験合格発表
	19	土					
	20	日					
	21	月	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	海の日
	22	火					
	23	水	午前・午後	午前・午後		午前・午後	
	24	木					
	25	金					
	26	土	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	
	27	日					
	28	月					
	29	火					
	30	水	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	
	31	木					
8月	1	金	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	
	2	土	午前・午後	午前・午後	午前・午後	午前・午後	

- ※1 県教委の実施要項にある「第1次試験の合格発表は7月18日」に基づき、計画してあります。
- 2 表中（大）（中）（小）は、教室の広さの規模を示しています。
- 3 まず、501教室（大）にお集まり、各自の座席を確保してください。

(2) 会場 沖縄県総合福祉センター（東棟5階）

- ① 那覇市立石嶺小学校斜め向かい
- ② 無料駐車場あり
自販機あり（教室の下4階）
コンビニが隣接してあり

2 受講料

① 【講座1】教職教養問題の現年度受講生	40,000円
② 過去に2次対策講座を受講	30,000円
③ 上記①②以外	60,000円
④ 第2次試験の情報提供あり	0円（無料）

※1 「④第2次試験の情報提供あり」とは、次の2つの要件を満たす方のこと。

- ㊦ 過去に2次対策講座を受講
- ④ 第2次試験の内容の詳細及び結果（可否）の情報を合格発表の月末までに当方に提供

※2 「第2次試験の情報提供あり 0円」の制度は、来年度（令和8年度）にも適用します。

3 受講料のお支払い

講座初日の7月21日（月）、講座開始前に会場にてお支払いください。

なお、定刻（10:00）に講座を開始いたします。

4 実施方法

- ① 令和7年7月21日（月）～8月2日（土）の中の上記の6日間、1日5時間。

	時間	対象	備考
全日程	10:00～16:00（1日5時間×6日）	小・中・高・特・養	途中、昼食あり

- ② 本研究会編集のテキストを使用します。テキストと添付資料は、初日に配付します。
- ③ 受験調書の書き方の見本「受験調書—こういう書き方はどうですか—」を初日に配付し、解説いたします。
- ④ 講座期間中、受験調書の添削指導に応じます。
- ⑤ 大教室と中・小教室を併用します。
大教室で全体への指導、その後同時併行して、隣接する中・小教室で少人数、個別指導を行います。
まず大教室に入室、座席を確保し、ご自分の荷物等をおいてください。
- ⑥ 個人面接、模擬授業とも、「次、やりたい方」「その次、やってみたい方」等原則として希望制です。
同一人物に偏らないように配慮します。
- ⑦ 模擬授業、個人面接の実施回数が少ない場合は、その旨お申し出ください。
- ⑧ 教室への出入りは自由です。
- ⑨ 全日程をとおして複数の教室を活用し、実務経験豊富な講師陣とお互い同士による

協働的な学び合い と **個別最適な学び** による **目標の実現** を目指します。

5 お申込み

- ① 第1次試験の合格発表があり次第、HP「お申込み・お問合せ」のページからメールにて承ります。
- ② 当方から受け付けた旨の返信メールを差し上げます。
返信メールの着信をもって受け付けたものとします。これ以降、キャンセルはできません。
発信元（スマホ等）を info@okikyoken.org からのメールを受信できる状態にしておいて下さい。
- ③ 先着順で、定員に達しましたら締め切らせていただきます。一人当たり少なくとも模擬授業、個人面接各々3回以上は確実に実施することができるよう、定員を設定いたします。

6 提出していただくもの、毎日ご持参するもの

- ① 講座の初日の受付時に、次を各4部、ご提出ください。
 - ㊦ 受験調書
受験調書が講座初日までに未完成の方は、教育庁への必着日を考慮しながら添削指導に応じます。
 - ㊧ 事前通知（模擬授業の課題）（初日までに届いていない場合は講座2日目）
 - ㊨ 模擬授業の課題に係る教科書及び指導書の写し（同上）
- ② 受験校種、教科・科目の『学習指導要領 解説』
- ③ 昼食、水（会場は空調が完備していますが、水分の補給は不可欠です）。4階に自販機あり
- ④ その他、第2次試験に向け必要とされるもの

7 講座の内容・運営

(1) 共通事項

- ① 第2次試験は、第1次試験と異なり試験官（面接員）の主観が大きく働く試験です。実務経験を踏まえ、「人が人を評価する試験」であることを肝に銘じて講座の運営にあたります。
- ② 各日程それぞれ受講生全員が一教室に集まり、一人一人が全員を前にして模擬授業、個人面接を行います。
さらに一人一人個別に、又は少人数により、別の教室で模擬授業、個人面接の指導を行います。
今でいう「協働的な学び合い」「個別最適な学び」です。
- ③ 講座の参加者は、個人面接の面接員役を務めるとともに、模擬授業直後の授業研究会に加わり授業者に対する質問、助言を述べていただき、「協働的な学び合い」の場をつくります。
- ④ 模擬授業、個人面接の実務経験を踏まえ、本研究会が独自に編集したテキストに基づき、第2次試験の過去問、評価の観点等を解説します。テキストは、初日に配付します。
- ⑤ 模擬授業及び個人面接の一人当たりの実施可能回数は、少なくとも各3回程度は余裕をもって実施できる日程を組み、定員を設定しています。
時間に余裕があり、希望者がおればさらに回数を増やしていきます。例年、そうしています。
回数が少ないと感じる方は、その旨お申し出ください。
- ⑥ 「英語の口頭による質疑応答」には対応しておりません。
- ⑦ 講座の運営は、主催者に一任させていただきます。
- ⑧ 予告なく、変更することがあります。

(2) 模擬授業

- ① 模擬授業は、授業終了直後に他の受講生から質問やアドバイスを受ける「授業研究会」方式で行います。
- ② 構想や板書の時間（4分間）→模擬授業（8分間）→授業研究会（1人につき5～10分程度）→次の方へ
- ③ 授業後には本番同様、実務経験のある講師が授業のこと、教科等のことについて質問を行うとともに授業に対するアドバイス（よい点、改善すべき点等）を行って締めくくり、次回の模擬授業にいかすようにします。
- ④ 模擬授業は、教育庁から送られてきた「事前通知」をもとに、あらかじめ各自で構想しておきます。
- ⑤ 模擬授業中の「実技内容」について、ピアノ、調理器具等の備品、設備等はありませんので、目の前にあるものとして「エアー」で授業をしてもらいます。電子黒板、理科実験器具、体育備品等についても同様です。

- ⑥ 同一時間帯に複数の教室を確保してあります。受講生全員が一教室で行うことをベースとしつつ、同一試験区分（例えば小学校、中学校国語）受講生が別の教室に移動して模擬授業を見せ合うなど、臨機応変に進行する場合があります。お互いそれぞれに、他の模擬授業の参観、質疑応答が自身にとってもとても勉強になります。

もちろん、実務経験豊富な講師がつきっきりで指導にあたります。

2年連続（令和5・6年度試験）で、小学校の受講生全員が合格した要因の一つと考えられます（受講生のメー

- ール）。
- ⑦ 午前と午後の間の1時間（12:30～13:30）は、毎日複数の教室が空きます。自由にお使いできます。
- ⑧ ご自分の模擬授業を後で検証するため、スマホ等で録画することが可能です。
- スマホスタンドは各自でご用意ください。
- 他の方の録画はご遠慮ください。

(3) 個人面接

- ① 個人面接は、本研究会が編集したテキストを使い、講師とともに受講生も面接員役を務めます。
- ご自身が面接員役を務めることにより、「見えてくるもの」があります。
- 「他の人だったら、どういう答え方をするのだろう」
- 「どうも答えられそうにない質問を行う」
- －相手の応答で自身も学びます。
- ② そのためには、テキストに収録されている大量の「質問例」をスラスラと言え、かつ、答えられるようにあらかじめ予習してもらいます。
- ③ 適宜、質問に関連した事項や応答したことについて、面接を受けている方以外の受講生全員に対しても共通に説明や解説を行います。
- 例えば、ストレスの解消の仕方、人間関係のつくり方、場面指導の話し方（学年集会での児童生徒を前にした話し、学級開きのあいさつ……）など。
- ④ 特に、論文試験が取りやめとなった分、論文試験に相当するような質問事例を多数収録してあります。
- 例えば、「『主体的・対話的で深い学び』とは、どのような『学び』ですか」
- 「そのような『学び』を実現する授業改善とは、どのような授業ですか」
- 「そのような授業を実現するために、あなたが最も重視することは何ですか」
- 「自立活動とはどういう活動ですか」
- 「なぜ、自立活動が重視されているのですか」
- 「自立活動の指導にあたって、最も大切なことは何だとあなたは考えますか」
- 「養護教諭の職務の特質を簡潔に述べて下さい」
- 「耳眼水平位とはなんですか」
- 「職員会議において、来週行われる健康診断の留意点を職員に説明して下さい（2分程度）」
- 「夏休み明けにあたって、新型コロナウィルスへの対応について全校児童の前で指導して下さい」
- ⑤ 受講生全員が一教室（大教室）で行うことをベースとしつつ、隣接する規模の小さい教室で個人面接、模擬授業を行うなど、臨機応変に進行する場合があります。個々のご要望には応じかねます。
- 個人面接、模擬授業の回数が他に比べて少ないと思われる方は、遠慮なくその旨申し出てください。
- ⑥ 「無気力な児童（生徒）に対し、あなたはどのように対応しますか。」など、受講生の質問、お悩みにどのように答えたらよいか、ご質問、ご希望があれば「答例」を講師が実演してお示しいたします。

(4) 受験調書

- ① 今年度も受験調書（様式7）の提出が求められています。
- ② 講座期間中に、受験調書の書き方の説明及び個別の添削指導に応じます。
- 教育庁への必着の期限が設定されています。十分、留意してください。
- ③ 個人面接の際は、この受験調書をもとにした質問も行います。

8 留意事項

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策について、県の方針に準ずるとともに借用する施設の方針に従って運営してまいります。
- ② 教室への出入りは自由です。講座に参加した日数、時間数に関わらず、受講料は上に示したとおりです。
- ③ 沖縄教職研究会のサイトに掲載されている「2次対策実施要項」と異なる部分は、この実施要項によります。
- ④ 予告なく変更することがあることをご承知おき下さい。

① 次のページに、沖縄教職研究会が目指す「学びのカタチ」のイメージ図

② その次のページに、2次対策講座のテキストの見本

③ さらにその次のページに、2次対策講座を受講した方からのメールの一例（原文のまま）

それぞれ掲載してあります。

2 次対策講座－目指す「学びのカタチ」

令和 7 年 6 月 1 6 日
沖 縄 教 職 研 究 会

沖縄教職研究会が目指す 2 次対策講座の「学びのカタチ」は、次のとおりです。

→ここ 2 年（令和 5・6 年度実施試験）の 2 次対策講座もこのカタチで展開し、小学校全員が合格しました。

→今年度（令和 7 年度実施試験）の 2 次対策講座も、このカタチで展開してまいります。

1 条件

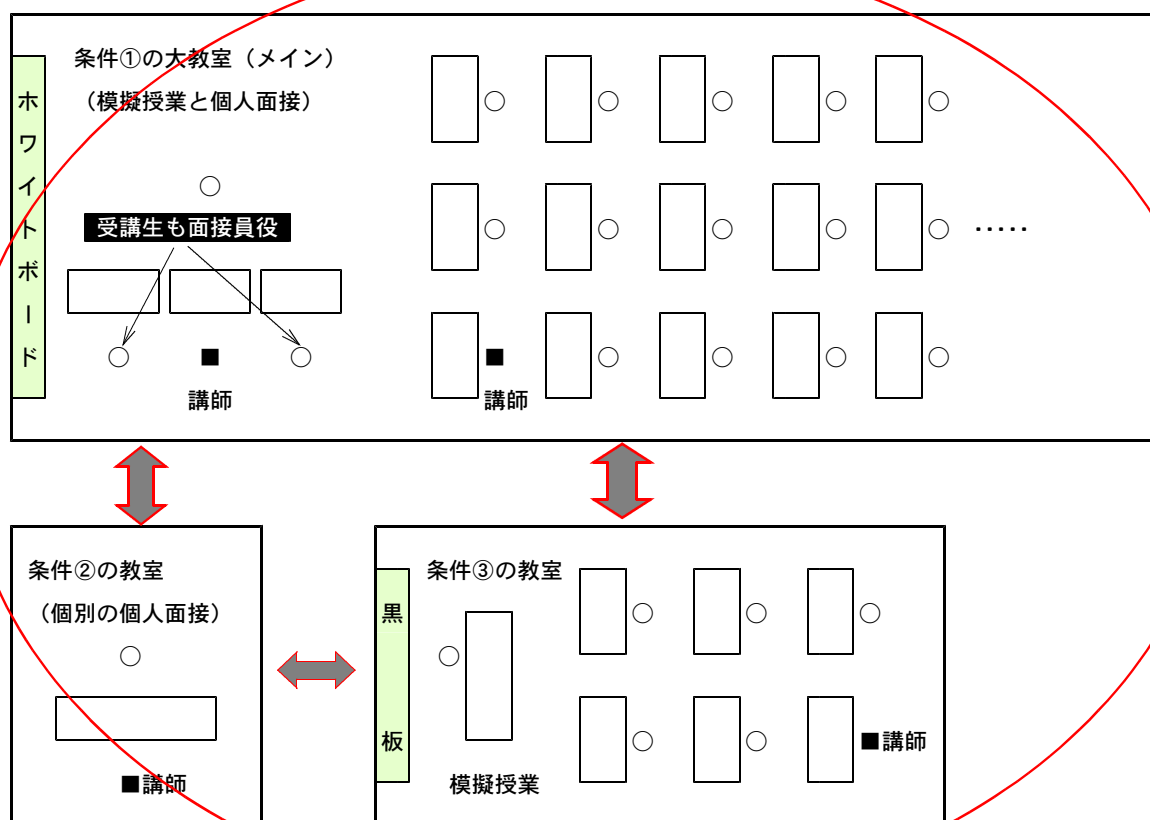
次の①～③の教室が一つの建物内にあり、隣接していること。

- ① 受講生全員による「協働的な学び合いの場」が形成できる大きめの教室
 - ② 一人ずつの「個別最適な授業指導・面接指導」ができる小規模の教室
 - ③ 同一試験区分（例えば小学校）などの小集団で「模擬授業を見せ合いして切磋琢磨」できる中規模の教室
- 意図するのは、実務経験豊富な講師陣とともに

協働的な学び合い と **個別最適な学び** による **目標の実現**

2 イメージ

沖縄教職研究会が目指す「学びのカタチ」



2 次対策講座のテキストの見本／印刷所にて印刷・製本

次の画像は、2次対策講座で使用するテキストの表紙です。

(A 4 版製本150頁＋メモ用ページ)

令和7年度実施
沖縄県教員候補者選考試験
2次対策講座テキスト

複写・複製を固く禁ず

個人面接・模擬授業 － 傾向と対策 －

添付資料

- 沖縄県教育委員会が求める教員像（＝選考で重視する視点）
- 学校教育における指導の努力点
- 沖縄県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクト
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド
- 学習評価の基本的な考え方
- 受験調書－こういう書き方はどうですか－

沖縄教職研究会

次は、2次対策講座で使用するテキストの内容の一部です。

表紙はカラー、本文はモノクロです。

本書の特長と効果的な活用法

本書は、2次対策講座で使用するテキストです。

沖縄県の公立学校教員候補者選考試験の第2次試験は、コロナ禍の令和3年度から論文試験がなくなり、主として①模擬授業と②個人面接により、合否が判定されます。論文試験が課されない分、模擬授業と個人面接の比重が各段に大きくなることは自明の理です。

この二つの試験は、機械が採点する第1次試験と異なり、いずれも「人が人を評価する」試験です。このことを踏まえて編集しており、講座を展開してまいります。

本書には、過去十数年、私どもの2次対策講座を受講されてきた皆さんのお力が詰まっております。毎年、貴重な情報を提供していただいております。「試験官（面接員）の生の声」が耳元で聞こえます。何ものにも代え難いかけがえのない財産であり、最大の特長です。

本書のもつこの特長をいかし、豊富な質問例に目を通しながら、「あの場に身を置き」徹底してイメージトレーニングを繰り返していくことを強くお勧めいたします。

2次対策講座は、おもにこのテキストを使って進めてまいります。実際の試験で質問される内容はほぼ予想できます。「他に学ぶ」－あなたへの質問と他への質問が異なる場合があります。2次対策講座で他の授業、面接を参観したことが、本番でとても役に立った旨の報告をたくさんいただいております。

教育経験豊富な講師陣がお供し、目標の実現に向けてお手伝いをさせていただきます。

も く じ

○ メモ用ページ（罫線付き 4 頁分）	
○ 本書の特長と効果的な活用法	1
○ 第 2 次試験に臨むあなたへ	4
○ 第 2 次試験の内容・結果の提供について（お願い）	5

第 1 章 第 2 次試験の概要

1 第 2 次試験の概要	6
2 第 2 次試験の流れ	7

第 2 章 個人面接

1 個人面接における評価項目及び面接審査の着眼点（予想）	8
2 総合評定	8
3 評定の要素	8
4 評価の観点	9
5 過去の質問（共通例）	9
6 個人面接で高得点をとるために心がけること	9

第 3 章 演習（個人面接）

1 共通事項	10
2 受験調書・面接調書	11
3 教師論	13
4 学校経営への参画	17
5 ストレス・心身の健康管理	22
6 教員の不祥事	23
7 外部からの苦情への対応	25
8 学級・ホームルーム経営	26
9 授業・学習指導	31
10 生徒指導	36
11 キャリア教育	40
12 食育	41
13 家庭や地域社会との連携・協働	42
14 学習指導要領	43
15 県教委施策・本県の課題	47
16 教育時事・その他	49
17 特別支援学校	50
18 養護教諭	54
19 場面指導（スピーチ）	59

第4章 模擬授業

1	模擬授業の評価の着眼点（予想）	66
2	総合評定	66
3	学習評価について	66
4	模擬授業で高得点をとるために心がけること	66
5	授業における基本事項（「問い」サポ）	66
6	模擬授業チェックシート（「問い」サポ）	66
7	過去の質問（共通例）	67

第5章 演習（模擬授業）

	模擬授業に入る前の「言葉かけ」	68
1	小・中・高等学校	68
2	特別支援学校	78
3	養護教諭	80

第6章 過去の全質問（模擬授業・個人面接）

1	令和6年度実施試験	82
2	令和5年度実施試験	95
3	令和4年度実施試験	109
4	令和3年度実施試験	118
※	令和7年度実施試験－あなたが面接員だったら－	131

第7章 添付資料

1	沖縄県教育委員会が求める教員像（＝選考で重視する視点）	132
2	学校教育における指導の努力点	133
3	授業における基本事項（「問い」サポ）	134
4	振り返りシート（「問い」サポ）	135
5	学習評価の基本的な考え方	136
6	沖縄県学力向上推進施策 「自立した学習者」育成プロジェクト	別冊
7	「問い」が生まれる授業サポートガイド	別冊

第8章 受験調書

1	受験調書（様式7のNo.1 と No.2）	144
2	「受験調書－こういう書き方はどうですか－」	別紙

次のページからテキスト本文の一部（本文はモノクロ）

2 受験調書・面接調書（様式7 No.1、No.2、様式9）

ポイント ①受験調書に書いてあることからの質問が多い。

②受験調書に限らず、すべての個人面接や模擬授業後の質問でも、あなたが答えたことに対して面接員は「それでも……」と、さらに深く突っ込んでくる。

③面接員に負けない。理路整然と答えてあげる。面接の醍醐味であり、得点を稼ぐ絶好のチャンスである。

質問1 受験調書（様式7 No.1）に書いてある次のことについて、口頭で説明してください。

- ①志望動機
- ②学生生活で最も印象に残った事象（学生時代に力を入れたこと）
- ③これまでに最も努力してきたこと
- ④これまでに取り組んだ地域・社会活動等（ボランティア活動等）
- ⑤この経験を、教員としての仕事にどういかせるか。

※各質問にメモ書きができるように、質問項目間に5行分35mmの余白を設けてあります。

質問2 受験調書に書いてあるボランティア活動について

- ①どういう内容で、どの程度の期間でしたか。
- ②そのボランティア活動の体験から得たもの（一番ためになったこと）は何ですか。
- ③この経験を、教育現場でどういかしていきますか。
- ④ボランティア活動を行って、あなた自身どのような力が身につきましたか。
- ⑤なぜ、ボランティア活動をする気持ちになったのですか。
- ⑥体験活動がもたらす教育的効果にはどのようなものがあると考えていますか。

傾向とポイント ①ボランティア活動についての質問が目立つ。

②質問をするということは、面接員も関心があることの証左であり、面接試験において重要なこと。ポジティブに捉える。自分自身が実際にやってきたことなので、自信を持って答えられる。

質問3 受験調書に書いてある卒業論文、研究内容等について

- ①どういう内容ですか。
- ②これを教職の仕事にどういかすことができますか。

3 教師論

ポイント 自身がもっている教師像を、「自分のことば」で語りかける。

「丸暗記」したことを「再生」しようとする、緊張してうまく相手（面接員）に伝わらない。

質問 1 ①教員（教師）を志望した理由を簡潔に述べてください。

②（県外出身者）どうしてあえて沖縄県の教員（教師）ですか。

答例 はい、教員（教師）を志望した理由が二つあります。

一つ目は、とにかく、子どもが大好きであり、教えることが大好きだからです。

（→その根拠を、簡潔に述べる）／①ダラダラと、②いかにも暗記したかのように述べない。

二つ目に、教職を通じて社会貢献をしたいことにあります。

教員（教師）という職業は、①子ども、②教えること、この二つが大好きである自分自身の生きがいでもあります。私は、家族や恩師、周囲の友人たちに恵まれ、大学・大学院までいかせてもらい今、こうして面接試験を受けさせていただいております。

これからは、その恩返しであり、社会貢献をする番です。沖縄の子どもたちに、夢や希望をいだかせ、その夢や希望を実現することができる道筋や力をしっかりと身に付けさせたいと思い、教員（教師）を志望しました。

※1 面接員が「教員」と言ったら「教員」と、「教師」と言ったら「教師」で統一する。

2 元気よく、表情豊かに、身を乗り出して、面接員の目を見て、「自分のことば」で述べる。

3 「一つ目」の根拠を加え、ゆっくり述べても、2分以内でおさめる。

4 なお、「暗記したことを思い出しているナ」と、面接員に思われたら合格はおぼつかない。

【2次対策講座では】

※1 **質問** の一部について、上のような **答例** を示しています。

2 実際の講座では、**答例** を参考にして答え方の説明を行います。

3 そして、受講生一人一人が、「自分のことば」で述べるができるように何回も繰り返します。
他の受講生が見ている前で行う場合もあり、小教室で個別で行う場合もあります。

4 これまでの経験上、慣れてきます。誰でも「自分のことば」で語るができるようになります。

質問 7 教員として必要なこと（資質・能力）は何だと思いますか。

答例① （同僚や保護者などとのコミュニケーションを図ることについて答える）

はい、校長先生を始め、同僚の先生方とコミュニケーションを図り、一緒になって仕事をしていくことではないかと、私は思います。

教師としての使命感、子どもたちへの深い愛情、教職についての専門的な知識そのために謙虚になって学び続ける姿勢などはもちろんのこと、これらの基盤の上に、さらに同僚の先生方、保護者、地域の方々など、周囲とのコミュニケーションを図ることだと、私は思います。

答例② （心身ともに健康であることについて答える）

特にここ数年、心因性による病気休職が大きな課題になっており、心身の健康のことについて毎年聞かれている。

答例③ （選考で重視する視点＝沖縄県教育委員会が求める教員像の中から答える）

毎年、教員候補者選考試験実施要項の冒頭に、「選考で重視する視点」がある。
この中から自分にあった内容を、「自分の言葉」で答える。

5 ストレス・心身の健康管理

ポイント ここ数年、とくにこの質問が多い。次を自分なりにまとめておく。

- ①ストレスの原因
- ②ストレスの解消法

6 教員の不祥事

ポイント 教員の不祥事について、突っ込んで聞かれる。「誘導質問」もたまにある。

- ①「場合によっては……」など、面接員に誤解されかねない不用意な発言や態度は絶対に禁物。
- ②当該教員の懲戒免職で済む問題ではない。学校教育、職に対する県民の信頼そのものを失墜させる、地に落とさせる行為である（強い調子で述べる）。

8 学級・ホームルーム経営

ここでは、「学級」と表記する。高等学校にあっては「ホームルーム」と読み替えること。

ポイント 学級は、児童生徒にとって学習や学校生活の基盤。

- ①自分のことばで、目指す学級像をスラスラと言えるようにする。
- ②『『支持的風土』のある学級を目指します』－面接員に「またか」のような顔をされる。

質問 1 子供たちにとって、学級とはどのようなものだと思いますか。

質問 2 ①あなたが学級担任になったら、どのような学級を目指しますか。

②（受験者の応答に対して）そのような学級にするために、どのような取組を行いますか。

質問 3 ①学級担任・ホームルーム担任として、特に力を入れたいことは何ですか。

②（受験者の応答に対して）それはどうしてですか。

答 3 はい、私がホームルーム担任として特に力を入れて取り組みたいことはキャリア教育です。

私は、キャリア教育は生徒一人一人が「自分はどうして生きていこうか」ということを考える、まさしく「人間としての生き方」の教育だと思っています。

（ここ数年、高校の受験者に聞かれている。具体的にどう取り組んでいくか、次に聞かれる）。

具体的には、学校全体とのつながりを図りつつ、キャリア教育の要となるホームルーム活動の年間指導計画 35 時間の中に、キャリア教育に係る内容を少なくとも 10 時間程度は確実に組み込んでいきます。1 年間を通して生徒一人一人が自己の在り方、将来の生き方をみつめる時間を設定していきます。

※（さらに聞かれたら、自身の体験を語る）

私が高校 1 年のときのホームルーム担任の影響があります。その担任の先生のおかげで今の私があります。

（臨時的任用期間中でホームルーム担任のときには、常にそれを実践してきたことを述べる）

次のページに昨年度受講生からのメールの一例（原文のまま）

沖縄教職研究会様

〇〇先生

こんばんは。

2次試験対策を受講しておりました〇〇(受験校種・教科)です。

本日、教員採用試験の最終合格者の発表があり、無事、合格しておりました。

2次試験対策講座では、受験調書の添削や、模擬授業や面接の練習をたくさん行うことができてとても良い対策になりました。

2次試験について何もわからない状態で講座を受講したため、初日は考えることがいっぱいでもできませんでした。他の受講者の様子を見るだけでもたくさんの学びがありました。講座の期間中で、受験調書も良いものが仕上がることができましたし、模擬授業や面接も回を重ねるごとによくなっていたのを実感できました。本番も自信をもって臨むことができました。

試験後に教育実習があり、教職についてより深く経験することができ、教職に就きたいという気持ちがより強くなりました。

沖縄教職研究会では、授業・面接といった実践だけではなく、合格に向けて自分から行動する大切さも学ぶことができ、こちらでご指導いただけてとても良かったと実感しております。本当にありがとうございました。

以下、得点・順位と第2次試験の内容の報告となります。

（以下、略。）